



本校教育目標 よく学び、よく鍛え、心やさしい児童の育成

九九を覚えよう「九九修行」【2年生】

休み時間になると2年生の子どもたちが職員室にやってきます。「今、お時間いいですか?」と近くの先生方に声をかけて、かけ算九九を聞いてもらっているのです。すらすらと上手に言えたら合格で、聞いてもらった先生から練習カードにはんこを押してもらえます。子どもたちのカードは、はんこやサインがいっぱいになってきました。



「よく学び」



大きく育て「記念樹植樹」【6年生】

11月28日(土)に6年生は記念樹を植えました。保護者の方々に手伝ってもらって、駐車場の入り口近くに2本の桜の苗木を植えました。大きく育ててきれいな花を咲かせてほしいと思います。いつか月日が経って、自分たちが植えた木が大きく育っていれば、嬉しく、また、懐かしく思うことでしょう。

お米・さつま芋を使った調理教室【5年生】



12月8日(火)に5年生は、「お米とさつま芋の調理教室」をしていただきました。地域の方々に教えてもらいながら、上手に実習を行うことができました。できた混ぜご飯、汁物、芋のデザートは、どれも美味しかったです。持ってきていただいたお漬物も美味しかったです。楽しく実習ができました。

地域の皆様のご協力でこのような学習ができることをありがたく思います。



前は、「青於藍」の書についてご紹介しました。全校朝会でも子どもたちに「青於藍」の話をしました。体育館にはもう一つ「淡如雲」の書が飾られています。この書は、旧唐津藩主 小笠原長生先生が書かれたそうです。31代校長の松枝良栄先生の解釈文によれば、「淡として(あわきこと)雲のごとし」と読み、手柄を立てようという野心がなく、無欲であっさりとした性格は、ちょうど流れる雲のよう」という意味があるそうです。